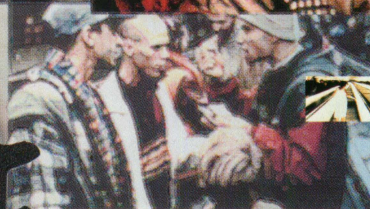
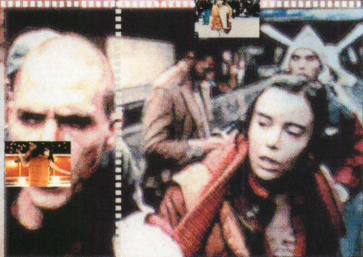
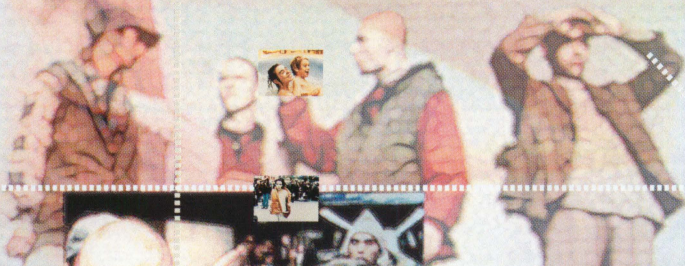


心に残る作品ではありません。心に刺さる作品です。



LOUISE

その他人は、わたしの家族でした。(TAKE 2)



INITIAL PRODUCTIONS PRESENTE **ELODIE BOUCHEZ** ROSCHDY ZEM **LOUISE (TAKE2)** un film de **SIEGFRIED** PRESENTE PAR PIONEER LDC DISTRIBUE PAR XANADEUX
JEAN CAZES PRESENTE UNE PRODUCTION INITIAL PRODUCTIONS EN COPRODUCTION AVEC LE STUDIO CANAL + CINE VALSE AVEC LA PARTICIPATION DE SOFICA COFIMAGE 9
SOFICA GIMAGES ET CANAL + ELODIE BOUCHEZ ROSCHDY ZEM **LOUISE(TAKE2)** GERALD THOMASSIN ANTOINE DU MERLE BRUCE MYERS NAGUIM BENDIDI ABDEL HOUARI
AVEC LA PARTICIPATION DE LOU CASTEL MUSIQUE DE SIEGFRIED MONTAGE HERVE SCHNEID A.C.E. IMAGE DE SIEGFRIED VINCENT BURON HERVE LODE SON JEAN-LUC AUDY
OLIVIER BUSSON ALEXANDRE WIDMER FRANCOIS GROULT DIRECTION DE PRODUCTION JULIE FLAMENT PRODUCTION EXECUTIVE NICOLAS DAGUET PRODUIT PAR JEAN CAZES
ECRIT ET REALISE PAR SIEGFRIED

LOUISE

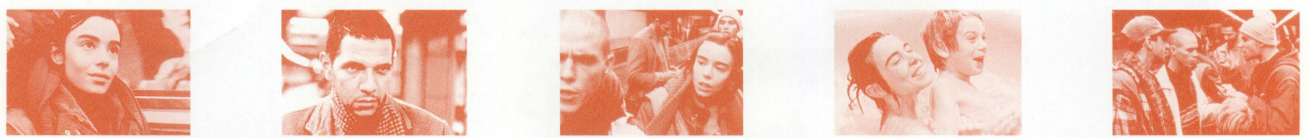
その他人はわたしの家族でした。(TAKE2)

冬のパリ、モンマルトル。
メトロから、颯爽と飛び出す1人の少女。
彼女の名はルイズ。
仲間たちと重ねるスリや万引きは、
ちょっとしたいたずらにすぎない。

そんな彼女のもとを訪れた2つの出会い。
ちゃっかり者の少年ギャビーとガールハントに精を出すレミ。
ジャズのインプロヴィゼーションを思わせる彼らの彷徨、
それは幻想と現実の間に立ちほだかる壁ささも
見えなくさせていく…

“メトロの天使”ルイズ。放浪の末、何を見つかるのか？

パリを駆け抜けるストリート・キッズたちの果てしない放浪、孤独、虚無感を描いた、ポエティックな青春映画『LOUISE (TAKE2)』。愛するメトロで一日を過す少女ルイズ。“家族”としての仲間、そして自分の居場所を探し求める彼女の彷徨いが、本当のパリを舞台に描かれる。ルイズを演じるのは、永遠の放浪者ゲンズブールに“最後のロリータ”として見出しされ、98年のカンヌ映画祭では『天使が見た夢』で見事主演女優賞に輝いた、エロディ・ブシェーズ。少女の狂気と天使のようなあどけなさをあわせ持つ彼女が、ガラスの様に繊細なヒロインを演じる。



Paris, Métro, Jazz.....Louise

パリのアンダーグラウンドが生んだアーティスト、シグフリードの長篇第一作。

一年のほどんでは世界各地を旅する放浪者。体の一部と化したカメラを操る映像作家。そしてストリート・ライブも行うジャズ・ミュージシャン。あらゆる“顔”を持ち、弱冠26歳にして監督、撮影、音楽全てをこなすアーティスト、シグフリードの長篇第一作である。『リビング・ラスベガス』、『ロスト・チルドレン』、『シクロ』など良質な作品をプロデュースしつづけるイニシャル・プロダクションの制作によって、彼が目と耳と肌で感じ取ってきた“パリ”の素顔が映像化されている。

音楽と映像がセッションする『LOUISE (TAKE2)』。物語の始まりはひとつの曲だった。

ソプラノサックスのイントロから始まるテーマ曲『LOUISE』。シグフリードは、自ら作ったその曲にインスピレーションを得て映画を撮った。『アメリカの影』におけるチャールズ・ミンガスを彷彿とさせる全篇に流れるサウンドトラックは全て彼のオリジナル。ジャズ、ヒップホップ、そしてトリップホップを融合させたセッションが、乾いた映像とシンクロする。本作では、大御所スティヴ・レイシーやニュー・ブルーノートの旗手エリック・トルファズ、そして次回作『SANSARA』では、世界的ピアニストのマルタ・アルゲリッチやヴァイオリニストのイヴリ・ギトリスが参加。シグフリードの奏でる音楽は、ジャンルを越え、国境を越える。

カンヌ映画祭「ある視点」クロージング サンダンス映画祭正式出品
監督・脚本・音楽・撮影/シグフリード 製作/ジャン・カゼ
ルイズ/エロディ・ブシェーズ レミ/ロシュディ・ゼム ヤヤ/ジェラルド・トマソン ギャビー/アントワーヌ・ドゥ・メール 浮浪者/ブルース・マイヤーズ 父/ルー・カステル
原題:LOUISE (TAKE2) フランス/ドルビーSR/ヨーロッパ・ヴィスタ/1時間50分 提供:パイオニアLDC 配給:ザナドゥー

26歳のジャズマンが作ったセッションムービー

9月22日(土) ~ 10月5日(金) 2:20 4:30 6:40 ※10/3のみ6:40の回休映

扇町ミュージアムスクエア サービスデー
*女子学生割引=平日の最終回、モーニング&レイトショー以外は女子学生1000円!
*ジェントルメンデー=毎週水曜は男性の方1000円均一!!
*最終回割引=ロードショーの最終回は一般の方が学生料金でご覧になれます!(毎日)
※特別興業など、適用できない場合があります。御了承下さい。

ホワイトイ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
☎06・6361・0088 www.oms.gr.jp